

本源寺 本堂、庫裏、霊屋、霊屋表門、中門



指定区分	国指定重要文化財(建造物)
読みかた	ほんげんじ ほんどう くり たまや たまやおもてもん ちゅうもん
所在地	津山市小田中
指定年月日	平成25年8月7日
解説	<p>本源寺は、津山市街西部に位置する、臨濟宗(りんざいしゅう)妙心寺(みょうしんじ)派の寺院で、津山藩主森家の菩提(ぼだい)寺である。境内中央に本堂が建ち、東に庫裏が並ぶ。本堂の北西が森家の墓所で、霊屋と霊屋表門を配する。本堂は慶長12年(1607年)に上棟され、桁行(けたゆき)25.3m、梁間(はりま)18.9mの方丈(ほうじょう)型本堂で、屋根は入母屋(いりもや)造、棧(さん)瓦葺とする。現在花(か)頭(とう)窓(まど)が設けられている正面などは改変されているが、柱や梁組などの主要構造は当初の様子をよくとどめている。本堂を中心として、桃山時代から江戸時代前期までに整備された建造物が一体で残されており、地方における大名家菩提寺として建てられた臨濟宗寺院建築の初期の遺構として価値が高い。</p>
アクセス方法	JR津山駅から徒歩で約20分／中国自動車道津山ICから車で約15分
公開状況	拝観可。不在の時もあるため事前に連絡必要。有料。[電話番号]0868-22-7351
設備	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center; gap: 20px;"> <span>駐車場</span>  <span>トイレ</span>  </div>
備考	